

教科シラバス（地歴公民科）

科目名	学年	使用教材	【教科書】
地理B	3 年		新詳地理B（帝国書院） 標準高等地図 ー地図で読む現代社会ー（帝国書院）
単位数（4） 必修 ・ 選択			【副教材】 新地理要点ノート、新地理の研究（啓隆社） 最新地理図表（第一学習社）、地理統計2019年度版（帝国書院）

【学習目標】

自ら考える力（知性）と豊かな創造性（感性）を備え、自己実現に向けて主体的に行動できる生徒の育成を目指すために、現代社会における地理的認識を深めると同時に地理的な見方・考え方を身につけ、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を深める。同時に進路希望実現に向け、センター試験や国公立大学個別試験・私立大学入試に対応できる学力を養成する。

【学習方法】

○新地理要点ノートを中心に、板書や説明を行い、授業を進めていきます。
○授業の中では、図表や地図帳をよく使います。図表を使って、図やグラフなどの説明をしたり、地図帳で様々な地名や地形名の確認をしたりします。重要な部分にはラインを入れたり、説明を記入したりするなど工夫して使用して下さい。
○授業がある程度進んだら、新地理の研究で復習を行い、授業を深めていきます。応用問題や難しい問題も入っています。より入試にも対応した内容となっていますが、課題にすることもあります。
○11月以降はセンター試験過去問や模試問題集を通して演習と解説を繰り返し、主にセンター試験の対策を徹底します。

【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。						
①関心・意欲・態度	意欲的、主体的に授業内容の活動に取り組み、地理的事象と自らの身の回りの生活が密接に関係していることを知ろうとする態度を持っている。					
②思考・判断	様々な地理的事象から課題を見だし、世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断している。					
③技能・表現	地図やグラフなどを読み取る技能を身に付け、データをもとに考察し地理的事象を追究する方法を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することができる。					
④知識・理解	現代社会の諸問題と人間としてのあり方や生き方に関わる知識を身に付けており、社会事象の成り立ちを多様な角度から理解している。					
評価方法／観点	①	②	③	④		※評価は定期考査が主ですが、授業態度、課題提出状況、小テスト等含めて評価します。
授業態度、取組	◎	○	○		集中して受けているか、発問への返答。	
出席状況	◎	○			出席状況	
課題などの提出物	○		◎	○	取組状況 提出状況	
考査	○	◎	○	◎	定期考査（年4回）、校内模試（年1回）	

【学習アドバイス】

○随時、学習内容に関する質問に答えていますので、理解の難しい箇所があれば、積極的に質問し、早めに解決して下さい。
○進路を踏まえた相談にも積極的に来て下さい。
＜課外授業について＞
○問題演習も含め、様々なレベルの入試問題に対応した解説を行います。

【年間学習計画】

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4			課題プリント
5	林業・水産業 エネルギー資源	世界の林・水産業について、その特徴を知る。 世界のエネルギー資源について分布や生産・消費などについて学ぶ。	
6	工業の発展と立地	産業の成立・発展と地域社会の変化について学ぶ。また、資源と関連付けながら工業の立地・生産などについて学ぶ。	
7	村落と都市 生活と文化	都市・村落の成立条件や特色について学ぶ。 世界の人々の生活・文化について自然環境や社会環境を通して学ぶ。	期末考査 夏休み課題
9	民族と宗教、領土問題 世界地誌	世界の民族や宗教の概観を捉えるとともに、世界で見られる領土問題について知る。 各地域の地誌学習を通して、その地域の概観や抱えている諸問題を考察する。	校内模試
10	世界地誌	各地域の地誌学習を通して、その地域の概観や抱えている諸問題を考察する。	中間考査
11	センター試験演習・解説	演習と解説を繰り返し、センター試験の対策を徹底する。	期末考査
12	センター試験演習・解説	演習と解説を繰り返し、センター試験の対策を徹底する。	
1	センター試験演習・解説 国公立大学個別試験・私立大学入試 演習・解説	演習と解説を繰り返し、センター試験の対策を徹底する。 演習と解説を繰り返し、国公立大学個別試験及び私立大学入試の対策を徹底する。	
2			
3			

【その他】

＜定期考査対策について＞ ・日頃の授業をきちんと集中して聞くこと。 ・板書を書きうつすだけでなく、授業中の教師の話などで重要な箇所をしっかりとメモすること。 ・毎日の授業後に復習を行うこと。 ・授業中に資料や地図を確認するときにしっかりと確認して、アンダーラインなどを入れておくこと。 ・授業だけでなく、毎日の新聞やニュース、世界の事象を取り扱ったメディアに関心を持ち、日本や世界の出来事を把握しておくこと。	＜対外模試対策について＞ ・まずは左記の日々の授業を大事にすること。 ・センター試験の過去問や演習問題を解くとき、なぜその解答になるかという根拠を大切に考えていること。 入試での地理はグラフやデータなどを読み取って解答することが多いです。普段から地理的事象の相関関係を意識しながら授業を受けたり、問題を解いたりすることが大事です。
---	--